



令和八年

大阪観世会定期能

第1回
6月13日(土)

第2回
12月12日(土)

通盛 替之型 梅若 猶義

百萬 法楽之舞 大槻 文藏

采女 美奈保之伝 観世 清和

一角仙人 上野 朝義

開演 午後1時(両日とも)

於 大槻能楽堂

○お問合せ・お申込

大阪府中央区上町A-7
TEL 06-6761-8055

一回券 一般 8,000円
学生 2,500円
一期券(二回券) 14,000円

大阪観世会

■演目のご案内

能『通盛 替之型』(みちもり かえのかた)

鳴門で夏安居(げあんご)修行中の僧たちが、毎夜、鳴門の海で亡んだ平家の一門を磯辺で弔っていると、漁翁夫婦が舟でやってくる。僧たちが舟の篝火で『法華経』を読誦すると、夫婦は自分たちも成仏できると喜ぶ。僧の求めで、鳴門の海に入水した小宰相の局の最期のさまを妻が語り、漁翁と海底に消える(中入)。浦の者が通盛夫婦それぞれの最期を語ると(居語り)、通盛の亡霊が小宰相の亡霊とともに海上に現われる。通盛は一の谷の合戦のさなかの小宰相との別れ、それを弟の能登守に叱責されたことを回想し(居グセ)(カケリ)、さらに源氏の武者と差し違えたことを語り、僧の回向によって成仏できると感謝するのだった。現在は中入で小宰相の局は後見座に行くのですが、今回は通盛とともに幕に入ります。

能『采女 美奈保之伝』(うねめ みなほのでん)

旅僧たちが夜更けの春日社に参詣すると、木の葉を手にした里女に出会う。女は、創建当時の春日山には木がなかったの、参詣する人は、いまも所願成就のために木を植えていると言い、藤の花咲く春景色を天竺の霊鷲山にも等しいと言って嘆賞する。女は僧を猿沢の池に案内し、昔、君寵を失って池に身を投げた采女のことを語り、その采女は自分だと言って池の底に消える(中入)。里人が入水した采女のことを語り(居語り)、僧たちが回向していると、采女の霊が現われ、葛城王に仕えていた、入水した采女とは別のある采女のことを語る(舞グセ)。ついで、自身が生前に勅命で舞った舞を再現し(序ノ舞)、秦平の御代を称えて、池の底に消えるのだった。本日の(美奈保之伝)では、春日社賛仰の場面と後場の葛城王に仕えていた采女の物語が削除され、一曲は入水した采女の物語となります。

能『百萬 法楽之舞』(ひやくまん ほうらくのまい)

吉野の男が南都で拾った幼な子とともに大念仏が行われている嵯峨清涼寺に参詣すると、門前の者が面白い見せ物があるといって、百万という女物狂を呼び出す。百万は曲舞車に乗った体で現れて念仏を唱え、人々に車を引くように奨める(車ノ段)。百万はさらに車を引くことを奨め、これも本尊の釈迦如来の力を頼んで、わが子との再会を願ってのことだと言って舞う(舞ノ段)。幼な子は百万が母親であることに気づくが、百万はそうとは知らず、男に法楽の舞を舞えと言われ、わが子の行方を思って(イロエ)、夫との死別やわが子との離別を語りつつ舞う(舞グセ)。百万はさらに狂乱のさまをみせるが(立廻り)、やがて幼な子がわが子と分かり、これも本尊の功德と親子うち連れ奈良に帰るのだった。本日の(法楽之舞)になると、(イロエ)が(中之舞)にかわり、クセは白紙の幣をつけた笹で舞い、演者によっては変った演出が見られます。(法楽)とは、本来、神仏に手向けるわざの意です。

能『一角仙人』(いっかくせんになん)

天竺波羅奈国では、一角仙人が龍神を岩屋に閉じ込めたため数カ月も雨が降らない。王命を受けた官人が旋陀夫人(せんだぶにん)の美貌で仙人の神通力を失わせようと、夫人を伴って仙人の住む山奥に赴くと、仙人が庵の中で仙境の秋景色を称えている。官人が一夜の宿を乞うと、仙人は夫人の美しさに驚き、やがて酒宴となって、夫人と仙人の二人が舞うが(楽)、仙人は夫人の美貌に心を奪われて酔い倒してしまい、官人と夫人は帰洛する(中入)。すると岩屋が鳴動して二つに割れ、閉じ込められていた二体の龍神が現われ、仙人に挑みかかる(舞働)。鬭争は龍神の勝利に終わり、龍神は天に上って早天に雨を降らせ、龍宮に帰るのだった。

『能楽手帖』の「展開」に小書の説明を加えた

●大槻能楽堂へのアクセス



会場アクセス

- 大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車
 - ⑩号出口を出て南へ約300m(⑪号出口にエレベーターあり)
 - 大阪メトロ谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅下車
 - ⑦号出口を出て北へ約350m(⑦号出口にエレベーターあり)
 - 大阪シティバス「国立病院大阪医療センター」バス停下車、南へすぐ
 - ▶「大阪駅前」から62系統「住吉車庫前」行き乗車
 - ▶「あべの橋(天王寺公園前)」から62系統「大阪駅前」行き乗車
- ※ 大槻能楽堂に駐車場・駐輪場はございません。
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

- ・公演における許可のない写真撮影・テープ録音・携帯電話等についての撮影・録画は固くお断りいたします。
- ・発熱や咳など、風邪の症状がみられる場合は、ご来場をお控えいただきますようお願い致します。

能組

高砂 赤井 香壽子
芭顏 立花 香壽子
夕顏 前田 飛南子
枕童 前田 和子
地謡 山本 麗晃
生本 知正
一本 大哉

弱法師

山本章弘 上野雄三
地謡 上野 雄介
寺澤 幸祐
大西 礼久
山中 雅志

通

大槻裕一 梅若猶義
盛 福王 知登
替之型 喜多雅人 久守 田家
善竹隆平 梅若雄一郎 梅若朝彦
後見 梅若基德 梅若西 井戸和男
梅若修一 地謡 上野 朝久
水田雄 梅若朝久
梅若修一 梅若朝久
梅若修一 梅若朝久

(休憩十五分)

祖先祭につき

蘆刈 生一 知哉
自然居士 赤松 禎友
芭蕉 大槻 文藏
狸々 齊藤 信隆
地謡 今村 哲朗
梅若基德
山本 幸祐

筧

善竹 彌五郎 小西 良介
後見 上吉川 徹

賀茂 山中 雅志
仙原 今村 哲朗
草子洗小町 梅若修一
小鍛冶 山本 麗晃
地謡 梅若雄一郎
山本 良祐

采

觀世清和 佐々木 秀
女 福王 茂十郎 成
美奈保之伝 中村 宜成
善竹隆司 山本 源次郎 齋藤 敦
後見 武富 康之 地謡 山本 大藏
赤松 禎友 長山 耕三 山本 博文
長山 耕三 山本 博文

附祝言

(午後六時 終了予定)

能組

難波 上野 雄介
兼平 長山 耕三
班鼓 寺澤 幸祐
天鼓 武富 康之
龍虎 井戸 良祐
地謡 上野 朝彦
生本 知正
一本 大哉

忠度

大西 礼久 梅若基德
地謡 山本 麗晃
梅若基德 今村 哲朗

百

井上智文 大槻文藏
萬 福王 茂十郎 夫
法樂之舞 廣谷 和夫 山本 達也
茂山逸平 成田 達也 赤井 啓三
後見 大槻 裕一 地謡 上野 雄介
生一 知哉 齊藤 信輔 山本 幸祐

(休憩十五分)

清経 水田 雄悟
浮舟 山本 博通
葵上 林本 大藏
殺生石 齊藤 信輔
地謡 梅若雄一郎
上野 雄三

延命袋

茂山 あきら 茂島 洋海
後見 増田 浩紀

景

清 觀世清和 地謡 大槻 裕一
山本 博通 齊藤 信隆 幸祐

一角仙人

江崎 欽次郎 上野 皓雄
大松 坪賢 明昭 清水野 野上 慎也
後見 武富 康之 地謡 山本 麗晃
梅若猶義 長山 耕三 山本 大藏
長山 耕三 山本 大藏 井戸 和男
梅若基德 山本 大藏 井戸 和男

附祝言

(午後五時三十分 終了予定)